

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 東葛ホールディングス
 コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石塚 俊之
 (氏名) 吉井 徹

TEL 047-346-1190

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 1,761 | 43.8 | 107 | 120.8 | 104 | 125.2 | 62 | 104.6 |
| 24年3月期第1四半期 | 1,225 | △23.7 | 48 | △35.7 | 46 | △35.9 | 30 | △20.3 |

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 62百万円 (104.6%) 24年3月期第1四半期 30百万円 (△20.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | 12.85 | 12.79 |
| 24年3月期第1四半期 | 6.28 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 6,288 | 2,721 | 43.2 |
| 24年3月期 | 6,419 | 2,707 | 42.1 |

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,718百万円 24年3月期 2,704百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 25年3月期 | — | — | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 3,337 | 21.2 | 183 | 43.5 | 178 | 45.6 | 102 | 39.8 | 21.12 |
| 通期 | 6,803 | 1.0 | 376 | 5.7 | 366 | 5.5 | 194 | 5.6 | 40.20 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 25年3月期1Q | 4,830,000 株 | 24年3月期 | 4,830,000 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-------|--------|-------|
| 25年3月期1Q | 800 株 | 24年3月期 | 800 株 |
|----------|-------|--------|-------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 25年3月期1Q | 4,829,200 株 | 24年3月期1Q | 4,829,200 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (5) セグメント情報等 | 8 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）におけるわが国の経済環境は、個人消費、公共投資が増加基調にあり、生産活動、雇用環境も緩やかな改善傾向を示すなど、緩やかな回復基調で推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、現在実施中のエコカー補助金（以下、補助金。）及びエコカー減税（以下、減税。）の効果によりハイブリッド車等対象車の販売が好調に推移したことから、当第1四半期連結累計期間の国内新車販売台数は1,259,918台（登録車（普通自動車）・届出車（軽自動車）の合計。前年同四半期比62.6%増）となり、震災の影響を受け販売台数が大幅に落ち込んだ前年同四半期を大幅に上回りました。

また、車種別で見ますと、上記補助金及び減税の対象車が多いハイブリッド車（フィットハイブリッド、プリウス等）、コンパクトカー（フィット、ヴィッツ等）、ミニバン（ステップワゴン、セレナ等）、補助金及び減税に加え車両維持コストが安い軽自動車（NBOX、ミラ等）が販売の上位を占めております。

セグメント毎の業績は、次のとおりであります。

新車販売につきましては、前述の補助金及び減税の効果によりハイブリッド車等対象車の販売が好調に推移したこと、昨年末に発売された新型軽自動車「NBOX」のヒットが続いていること等により、販売台数は595台（前年同四半期比99.0%増）と震災の影響を受け販売台数が大幅に落ち込んだ前年同四半期を大幅に上回りました。また、車検・12か月点検など整備業務を行うサービス売上及び販売台数の増加に伴い登録受取手数料等の手数料収入も増加しました。売上高は14億57百万円（前年同四半期比59.3%増）となりました。

中古車販売につきましては、好調に推移した新車販売により下取車の入庫が増加し、また、オークションからの外部仕入も行い、引き続き販売車両の確保に注力した結果、販売台数は546台（前年同四半期比34.8%増。内訳：小売台数227台（前年同四半期比1.8%増）、卸売台数319台（前年同四半期比75.3%増）と小売販売は中古車販売では逆風となる補助金の影響を受けるなか前年同四半期を若干上回り、卸売販売は大幅に増加しましたが、1台当たりの販売価格は低下しました。また、登録受取手数料等の手数料収入は増加しましたが、サービス売上は減少したことから売上高は2億81百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業では保険契約件数の増加により、保険取扱手数料が増加したことから売上高は22百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は17億61百万円（前年同四半期比43.8%増）となりました。

また、損益につきましては、営業利益は1億7百万円（前年同四半期比120.8%増）、経常利益は1億4百万円（前年同四半期比125.2%増）、四半期純利益は62百万円（前年同四半期比104.6%増）となりました。これは、当社グループ全体の売上高に占める割合が一番大きい新車販売の売上高が、震災の影響により大幅に落ち込んだ前年同四半期に対し、補助金及び減税の効果もあり大幅に増加したことから、営業利益、経常利益及び四半期純利益はいずれも大幅な増加となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期末連結会計期間末の流動資産は37億83百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億25百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が19百万円増加、現金及び預金が1億3百万円、商品及び製品が28百万円それぞれ減少したことによるものです。固定資産は25億円となり、前連結会計年度末に比べて4百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が3百万円減少したことによるものです。繰延資産は4百万円となり、前連結会計年度末に比べて1百万円減少いたしました。

この結果、総資産は62億88百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億31百万円減少いたしました。

（負債）

当第1四半期末連結会計期間末の流動負債は32億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億46百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が33百万円、賞与引当金が21百万円それぞれ増加、買掛金が1億24百万円、その他の負債が75百万円それぞれ減少したことによるものです。固定負債は2億71百万円となり、前連結会計年度末に比べて1百万円増加いたしました。これはその他の負債が5百万円増加、長期借入金が3百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は35億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億44百万円減少いたしました。

（純資産）

当第1四半期末連結会計期間末の純資産合計は27億21百万円となり、前連結会計年度末に比べて13百万円増加いたしました。これは四半期利益62百万円及び剰余金の配当48百万円によるものです。また、自己資本比率は43.2%（前連結会計年度末は42.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億3百万円減少し、当四半期連結会計期間末には9億81百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は78百万円（前年同四半期は3億30百万円の獲得）となりました。これは税金等調整前四半期純利益1億4百万円から主に減価償却費24百万円、賞与引当金の増加21百万円、売上債権の増加71百万円、仕入債務の減少1億24百万円及び法人税等の支払額46百万円等を調整したものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は6百万円（前年同四半期は2百万円の使用）となりました。これは主に固定資産の取得による支出5百万円、貸付金の回収による収入2百万円、差入保証金の差入による支出3百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は18百万円（前年同四半期は1億84百万円の使用）となりました。これは借入金による収入29百万円、配当金の支払による支出48百万円によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、平成24年5月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記情報）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ605千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,084,568 | 981,426 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,251,582 | 2,270,861 |
| 商品及び製品 | 335,601 | 307,270 |
| その他 | 236,672 | 223,771 |
| 流動資産合計 | 3,908,424 | 3,783,329 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 325,454 | 322,525 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 138,170 | 138,461 |
| 土地 | 1,689,171 | 1,689,171 |
| その他（純額） | 7,993 | 7,470 |
| 有形固定資産合計 | 2,160,790 | 2,157,630 |
| 無形固定資産 | 9,899 | 9,307 |
| 投資その他の資産 | 334,692 | 333,841 |
| 固定資産合計 | 2,505,381 | 2,500,778 |
| 繰延資産 | 5,755 | 4,316 |
| 資産合計 | 6,419,561 | 6,288,425 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 577,323 | 452,451 |
| 短期借入金 | 2,390,442 | 2,423,927 |
| 1年内償還予定の社債 | 30,000 | 30,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 14,280 | 14,280 |
| 未払法人税等 | 46,249 | 44,780 |
| 賞与引当金 | 41,392 | 63,031 |
| その他 | 342,086 | 266,819 |
| 流動負債合計 | 3,441,775 | 3,295,291 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 32,170 | 28,600 |
| その他 | 238,185 | 243,298 |
| 固定負債合計 | 270,355 | 271,898 |
| 負債合計 | 3,712,131 | 3,567,190 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 210,300 | 210,300 |
| 資本剰余金 | 199,711 | 199,711 |
| 利益剰余金 | 2,294,916 | 2,308,720 |
| 自己株式 | △325 | △325 |
| 株主資本合計 | 2,704,602 | 2,718,406 |
| 新株予約権 | 2,828 | 2,828 |
| 純資産合計 | 2,707,430 | 2,721,234 |
| 負債純資産合計 | 6,419,561 | 6,288,425 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 1,225,396 | 1,761,566 |
| 売上原価 | 893,817 | 1,343,550 |
| 売上総利益 | 331,578 | 418,016 |
| 販売費及び一般管理費 | 282,887 | 310,489 |
| 営業利益 | 48,690 | 107,526 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 564 | 522 |
| 受取手数料 | 3,609 | 1,921 |
| その他 | 765 | 1,504 |
| 営業外収益合計 | 4,939 | 3,949 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5,237 | 4,918 |
| 開業費償却 | 1,438 | 1,438 |
| その他 | 471 | 420 |
| 営業外費用合計 | 7,147 | 6,777 |
| 経常利益 | 46,482 | 104,697 |
| 特別利益 | | |
| 保険解約返戻金 | 9,743 | — |
| 特別利益合計 | 9,743 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 56,225 | 104,697 |
| 法人税等 | 25,880 | 42,601 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 30,344 | 62,096 |
| 四半期純利益 | 30,344 | 62,096 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 30,344 | 62,096 |
| 四半期包括利益 | 30,344 | 62,096 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 30,344 | 62,096 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 56,225 | 104,697 |
| 減価償却費 | 20,664 | 24,570 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 19,024 | 21,639 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 2,147 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △564 | △522 |
| 支払利息 | 5,237 | 4,918 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 141,722 | △71,653 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △4,557 | 11,843 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 9,204 | △124,871 |
| 開業費償却額 | 1,438 | 1,438 |
| 差入保証金償却額 | 1,599 | 1,599 |
| その他の資産の増減額 (△は増加) | 131,052 | 15,192 |
| その他の負債の増減額 (△は減少) | △3,802 | △16,271 |
| 小計 | 379,393 | △27,418 |
| 利息及び配当金の受取額 | 15 | 11 |
| 利息の支払額 | △5,297 | △4,506 |
| 法人税等の支払額 | △43,907 | △46,249 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 330,204 | △78,164 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △5,070 | △5,905 |
| 貸付金の回収による収入 | 2,682 | 2,682 |
| 差入保証金の差入による支出 | △130 | △3,500 |
| 差入保証金の回収による収入 | 10 | 122 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,507 | △6,601 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △133,131 | 33,484 |
| 長期借入金の返済による支出 | △3,570 | △3,570 |
| 配当金の支払額 | △48,292 | △48,292 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △184,993 | △18,377 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 142,702 | △103,142 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 818,413 | 1,084,568 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 961,115 | 981,426 |

（4）継続企業の前提に関する注記
該当はありません。

（5）セグメント情報等
（セグメント情報）

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | その他 （注） | 合計 |
|-------------------|---------|---------|-----------|------------|-----------|
| | 新車販売 | 中古車販売 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 914,673 | 289,767 | 1,204,441 | 20,954 | 1,225,396 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 34,989 | — | 34,989 | — | 34,989 |
| 計 | 949,663 | 289,767 | 1,239,430 | 20,954 | 1,260,385 |
| セグメント利益 | 57,121 | 26,148 | 83,270 | 1,914 | 85,184 |

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 83,270 |
| 「その他」の区分の利益 | 1,914 |
| 全社費用（注） | △36,493 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 48,690 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-------------------|-----------|---------|-----------|------------|-----------|
| | 新車販売 | 中古車販売 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,457,074 | 281,606 | 1,738,680 | 22,886 | 1,761,566 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 74,792 | — | 74,792 | — | 74,792 |
| 計 | 1,531,866 | 281,606 | 1,813,472 | 22,886 | 1,836,359 |
| セグメント利益または損失（△） | 110,695 | 34,959 | 145,654 | △1,141 | 144,512 |

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 145,654 |
| 「その他」の区分の損失 | △1,141 |
| 全社費用（注） | △36,986 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 107,526 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。